

第9回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和6年9月9日（月曜）		午後3時50分	開会
	休 憩 15:52-15:53、16:17-16:25			
			午後4時44分	閉会
	休憩時間：0時間9分		会議時間：0時間45分	
会議場所	3階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員	堀切 忠
	副委員長	中田智恵子	委 員	小笠原 等
	委 員	鈴木 健充	委 員	伊藤 稔
	委 員	早苗 豊		
	委 員	立川 美穂		議 長 梶澤 幸治
説 明 員				
参 考 人	連合北海道芽室地区連合 西川 周作			
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	総務係長 竹川 恭史	総務係主査 上田瑞紀		
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議 件 (1) 審査事項 ア 陳情第1号 「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情 陳情の提出者（参考人）を招へいし、陳情の趣旨について説明を求め、その後、委員から質疑を行う ・委員長：委員から質疑を受ける。 ・鈴木委員：「保護者負担の解消」を意図するものは。 ・参考人：教材費等、教育の機会均等のため保護者の負担軽減を図らなければならない。 ・堀切委員：「30人以下学級」になり、現場の声は。				

- ・参考人：子どもに寄り添った教育ができるようになった。困っている子にも手が行き届くようになった。
- ・中田委員：残業や自宅に持ち帰っての業務などはあるか。
- ・参考人：校務支援システムの導入により、業務の効率は上がったが、完全に負担解消していない。放課後に授業の準備や、少年団などやりたい思いもある。今ある仕事は必要なものなのか精査していくような取組をしている。
- ・立川委員：教職員のなり手不足が問題視されている。教員を志望する学生を増やすために心がけていることはあるか。
- ・参考人：教師自身も楽しく働くことが子どもたちのためにもなり、やりがいや魅力につながると考えている。そのためにも、今ある習わしの見直しを行い、働き方改革を進めていきたい。
- ・中田委員：不登校など子どもたちへの対応はどのように行っているか。
- ・参考人：困り感、不安など日々一緒に過ごす中でコミュニケーションをとっており、専門の窓口に挙げ教員で協議している。子どもの困りごとが多様化しており、多くの教員で見守り対応している。
- ・委員長：その他、質疑がなければ、参考人に対する質疑を終了とする。

- ・委員長：自由討議を行う。
- ・立川委員：教育にDXが入ったことで負担軽減が図られる一方、人と接する職業のため教員の多忙感など現場の状況も感じ取ることができた。
- ・中田委員：陳情の内容・趣旨も理解できるものであった。ただちに討論・採決を行うべきと考える。

- ・委員長：討論・採決を行う。
- ・堀切委員：賛成の立場で討論する。

そもそも憲法は、義務教育の無償を定めているが、給食費や修学旅行費、制服、副教材費などさまざまな保護者負担がある。ここ数年の物価高騰により家計には重い負担となっている。陳情書にもあるように、奨学金制度を利用せざるを得ない子ども達や、経済的な理由で進学や就学を断念する子どもが増加していることから、誰もがお金の心配なく学べる社会にしていくことが今求められていると考える。

また、教職員を増やし、長時間労働の是正や少人数学級を実現していくことは喫緊の課題と考え、義務教育費国庫負担金の負担率を2分の1に戻すことが、今求められている。

以上、述べた理由により、陳情の趣旨については妥当であるものと考え、賛成討論とする。
- ・委員長：その他あるか。

(なし)
- ・委員長：以上で討論を終了する。採決を行う。採択すべきと考える方の挙手を求める。

(挙手全員)

- ・委員長：本陳情は採択すべきものと決定する。
- ・委員長：陳情第5号の陳情審査報告書を作成する。
- ・委員長：陳情第5号の陳情審査報告書朗読を副委員長にお願いする。
- ・中田副委員長：陳情第5号の陳情審査報告書を朗読。
- ・委員長：陳情第5号の陳情審査報告書について、意見はあるか。
(意見なし)
- ・委員長：今後、軽微な修訂正等については正副一任としたい。異議ないか。
(異議なし)
- ・委員長：決定とする。
- ・委員長：意見書案については読み上げを省略し、記載のとおりとしてよろしいか。
(意見なし)
- ・委員長：今後、軽微な修訂正等については正副一任としたい。異議ないか。
(異議なし)
- ・委員長：陳情第5号の意見書をこのとおり決定する。
- ・委員長：以上で審査事項「ア 陳情第5号」を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副一任

(2) その他

- ・委員長：どんぐり会との意見交換会について、先進地事務調査の報告を兼ねて10月に実施したい。
- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	2名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和6年9月9日

厚生文教常任委員会委員長 中村和宏